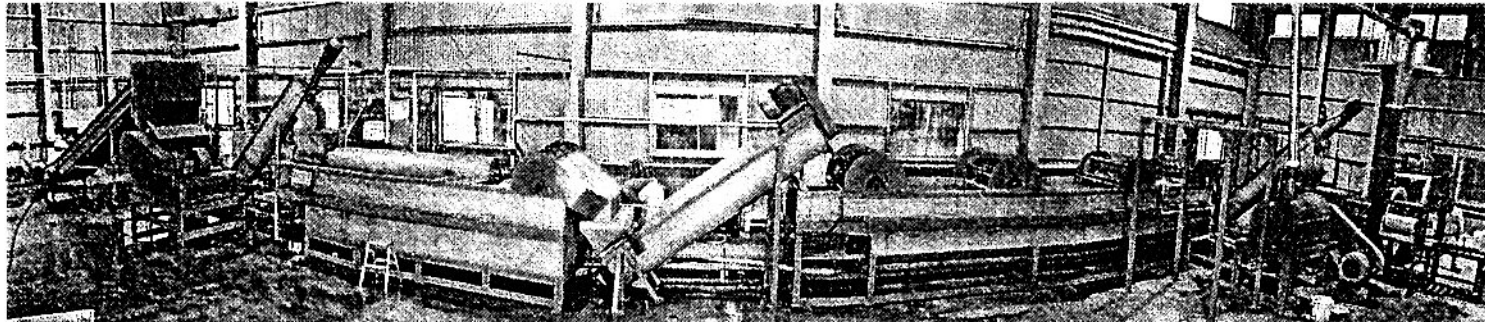
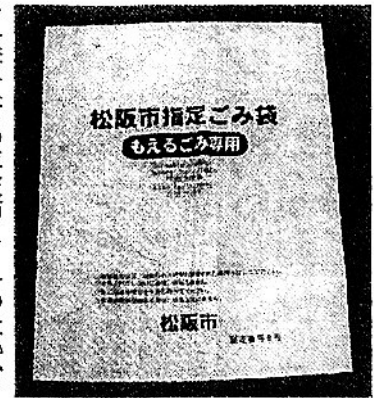


三功 廃プラのルーPR確立 再生ごみ袋が松阪市指定に

食品リサイクルや資(三重県津市、片野寛源ごみの循環システム 之社長)は、廃プラを構築で実績を持つ三功 破碎・洗浄・脱水・圧縮梱包して出荷し、中国工場で再生ごみ袋にし



新廃プラ破碎洗浄システム



松阪市の指定ごみ袋に認定された再生袋

定を得られる」とポイントを語る。日本国内での廃プラリサイクル事業では、RPPF原料

て日本に戻す「廃プラのルーPR」事業をスタートした。今年3月には、三重県松阪市から「指定ごみ袋事業者」の認定を受け、5月から本格販売を行っている。

同社の廃プラリサイクル事業では、97年から選別物の有価販売を開始。次に07年、中国の製品工場と提携し、廃プラの「リサイクルルーPR」システム化に成功した。今

回発売した「再生ごみ袋」は、再生ポリエチレンを15%使用したもの。新賞商店(愛知県岡崎市)、西山商店(名古屋市)、明輝クリーナー(愛知県豊橋市)と4社共同で取り組んでいる。

PETFレールは、再生ポリエチレンを15%使用したもの。新賞商店(愛知県岡崎市)、西山商店(名古屋市)、明輝クリーナー(愛知県豊橋市)と4社共同で取り組んでいる。

PETFレール

同社の片野社長は「好況時、輸出業者に高く買わせていると、逆に市況が降下すると価格が高いところから切られる。現地の製造工場との直接取引なら極端に高くないが安くなった。」